



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,294.76	382.20	1.09	1.58	15.32	30,606.48
NASDAQ	14,897.34	73.91	0.50	2.18	15.59	12,888.28
日経225	29,068.63	517.70	1.81	3.64	5.92	27,444.17
上海総合	3,572.37	14.09	0.40	-0.55	2.86	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,932.11	18.50	0.38	0.04	-5.36	5,211.29
ハンセン	25,330.96	368.37	1.48	1.99	-6.98	27,231.13
中国企業	8,966.17	117.00	1.32	2.17	-16.50	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は2.0%高と3週続伸、上海総合指数は0.6%安

香港市場ではハンセン指数が週間で2.0%高と3週続伸。13日が台風、14日が重陽節で休場のため3日間の取引となった。週初の11日はネット株の上昇で3日続伸して1カ月ぶり高値を付けたが、その後は一進一退の展開。中国の電力不足に対する警戒感から12日に反落したが、休場明け15日は米中の株高を受けて反発した。本土市場では上海総合指数が週間で0.6%安と反落。週初に一時3600ポイント台に乗せたものの、資源高や電力不足による景気の下振れ懸念から、その後は節目を下回る水準での値動きとなった。

今週の展望:香港市場はしっかりの展開か、中国恒大集団問題に引き続き注視

香港市場はしっかりの展開か。中国恒大集団問題が引き続き焦点となりそうだが、中国人民銀行が金融機関に不動産業界への融資を続けるよう指示を出すなど、当局に支援の動きが出ていることはプラス材料。また、足元の資源高や電力不足で中国景気の減速懸念が強まっていることで、市場では中国政府による景気対策への期待も高まっている。仮に弱い経済指標の発表が続いたとしても底堅い値動きとなりそう。本土市場も政府による景気対策への期待などを背景にしっかりの展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 BYD(01211)	273.00	10.98
2 吉利汽車(00175)	24.40	9.91
3 美团(03690)	280.80	9.69
4 海底撈国際(06862)	29.70	9.59
5 信義光能(00968)	15.90	9.35
6 申洲国際集団(02313)	163.30	6.73
7 招商銀行(03968)	63.70	5.64
8 李寧(02331)	85.15	5.19
9 HSBC(00005)	46.05	5.02
10 ハンセン銀行(00011)	148.30	4.58

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 安踏体育用品(02020)	121.40	-7.61
2 阿里健康(00241)	10.64	-6.34
3 石業集団(01093)	8.65	-5.67
4 万洲国際(00288)	5.10	-5.20
5 バドワイザーAPAC(01876)	19.48	-4.28
6 中国蒙牛乳業(02319)	45.50	-4.21
7 CNOOC(00883)	8.68	-2.47
8 AIAグループ(01299)	87.80	-2.44
9 薬明生物技術(02269)	109.40	-2.32
10 ホンコン・ファイナクス(00003)	11.52	-2.04

▼今週の主なイベント

- 10月20日(水)
- 【中国】70都市不動産価格(9月)
- 【中国】最優貸出金利(9月)
- 10月21日(木)
- 【香港】失業率(7-9月)

▼今週の期待材料

- ◆中国恒大集団の資金繰り問題で19日期限の1.2億円の利払い実施へ、デフォルト懸念が和らぐ算
- ◆中国人民銀行が中国恒大問題について言及、「個別金融機関の債権は分散しており制御可能な水準」
- ◆足元の中国の景気減速懸念で政府による景気対策への期待高まる、預金準備率の追加引き下げ観測も浮上

▼今週の懸念材料

- ◆中国の9月のPPIが前年同月比10.7%上昇と過去最大の伸び、資源高で企業業績に下押し圧力
- ◆米長期金利が先週一時1.6%台まで上昇、長期金利上昇でハイテク・グロース株に売り圧力強まる算
- ◆中国の7-9月の実質GDP成長率が4.9%と市場予想下回る、固定資産投資や鉱工業生産も予想下回る伸び

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 深セン高速道路 (00548) : 1-9月期決算は業務正常化で純利益約3倍の見通し
- ☆ ペトロチャイナ (00857) : 原油相場上昇で業績拡大期待、原油相場が約7年ぶり高値
- ☆ 紫金鉱業集団 (02899) : 1-9月期決算は販売増加と価格上昇で純利益2.5倍に拡大
- ☆ 思摩爾国際 (06969) : 1-9月期決算は純利益3.7倍、調整済み利益は72%増
- ★ 中国東方航空 (00670) : 9月の旅客数が32%減少、1-9月は24%増加
- ★ 中国国際航空 (00753) : 9月の旅客数が30%減少、1-9月は20%増加
- ★ 中国冶金科工 (01618) : 9月の新規受注額が9%減少、1-9月は25%増
- ★ 中国中煤能源 (01898) : 9月の石炭販売量が10%減少、生産量は17%減
- ★ 中国人寿保険 (02628) : 9月の保険料収入が3%減少、1-9月は2%増
- ★ 衆安在線財産保険 (06060) : 9月の保険料収入が24%減少、1-9月は42%増

レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。